

佐倉市議会だより



2020年11月1日
(令和2年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



8月定例会

会期 8月24日～9月14日

令和元年度 歳入歳出決算を認定

令和2年度一般会計・特別会計 補正予算を可決

佐倉市議会は、8月24日から9月14日までの22日間にわたり、令和2年8月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「令和元年度佐倉市一般会計歳入歳出決算の認定について」や「令和2年度佐倉市一般会計補正予算」など議案23件、諮問2件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決、認定または同意しました。

請願・陳情については、「国における2021年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など3件が、議員提出議案については「国における令和3年度教育予算拡充に関する意見書」など13件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、会派に属さない議員1人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



小中学校に整備される学習用タブレット



20人を一度に体温測定できるAIサーマルカメラ。音楽ホール、市民体育館、本庁に設置。

7月臨時会

新型コロナウイルス感染症に迅速に対応 臨時会を開催

約12億5千万円の増額補正予算を可決

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、早急に事業着手する必要があることから、臨時会を7月17日に開催し、「令和2年度佐倉市一般会計補正予算」を可決しました。



民間事業者が運営する保育園、児童保育所、幼稚園等で保育業務に従事する方に慰労金を支給



各避難所に配置される多目的簡易ベッド



売上減少率20%以上の事業者等に10万円給付(現行制度の拡大)

など

決算審査特別委員会を設置

令和元年度の各会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会を設置し、4日間にわたり、担当部課長などから説明を受け、慎重に審査を行いました。定例会最終日には、石渡康郎委員長から審査結果報告があり、次の3点について、要望しました。

決算審査特別委員会での意見・要望

- 定住人口、交流人口を確保するためには、まちの魅力をより効果的に発信することが重要である。本市のシティプロモーションのターゲットが子育て世代であることを踏まえ、SNSなど、ターゲットの多くが利用している情報ツールを全庁的に活用するよう情報発信の手法について検討していただきたい。また併せて、行政手続きにおいてもICT化を図り、利便性の向上にも努めていただきたい。
- 本市に未曾有の被害をもたらした昨秋の台風や大雨での課題を踏まえ、関係機関と連携し、災害に強いまちづくりを一層進めていただきたい。また、災害発生直後においては、自助、共助による安全の確保が重要と捉えている。今後も増大が予想される災害への備えとして、自助行動の啓発、共助の主体となる自治会等地域団体への活動支援などについて、全庁横断的に取り組んでいただきたい。
- 監査委員からの指摘にもあるとおり、経常収支比率ははまだ高い状態であり、実質単年度収支も4年連続の赤字であることから、厳しい財政状況であると言わざるを得ない。交付税に多大に依存することなく、行政改革の推進などにより自主財源の確保に努め、財政健全化に向けて鋭意努力していただきたい。



決算審査特別委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

木崎俊行、藤崎良次、押木孝和、敷根文裕、密本成章、石井秀明、松島 梢、高木大輔、◎石渡康郎、○山本英司、齋藤明美、鍋田達子

【令和元年度会計別決算の状況】 ※会計名の丸数字は議案番号

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
①一般会計	519億3,348万3,670円	498億4,211万8,737円	20億9,136万4,933円
②国民健康保険	175億4,637万2,346円	175億3,777万8,304円	859万4,042円
③公共用地取得事業	337万8,299円	337万8,299円	0円
④農業集落排水事業	2,114万6,003円	2,114万6,003円	0円
⑤介護保険	121億7,541万 37円	121億2,261万1,038円	5,279万8,999円
⑥災害共済事業	1,195万1,809円	1,195万1,809円	0円
⑦後期高齢者医療	24億4,636万1,295円	24億4,228万9,895円	407万1,400円
会計名	事業収益決算額	事業費用決算額	純利益
⑧水道事業	37億1,907万9,072円	32億5,408万6,861円	4億6,499万2,211円
⑨下水道事業	38億7,557万8,951円	32億6,216万8,563円	6億1,341万 388円

市政に関する

一般質問

8月定例会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問は、6月定例会に引き続き、質問者数、質問時間を制限し、8月26日から8月28日までの3日間で行いました。

市政に対し活発に議論が行われましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(11月中旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(11月中旬配信予定)からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 持ち時間は30分。()内は会派名。

- 石渡康郎(さくら会)
1市長の政治姿勢
2新型コロナウイルス感染症対策(事業継続や雇用維持等)
3新型コロナウイルス感染症対策(新しい生活様式の定着等)
4安全安心なまちづくり
5当面の課題
齋藤寛之(自由民主さくら)
1新型コロナウイルス感染症について
2GIGAスクール構想とICT環境整備について
3印旛沼予備排水と水辺の社会実験について
4災害対策について
5インフラ整備について
押木孝和(公明党)
1新型コロナウイルス感染症対策について
2コロナ禍における複合災害の備えについて
3小規模事業者への支援について
4「新しい生活様式」に向けた諸施策の具体化について
5不妊治療費助成について
6高齢者の移手段の確保・充実について
川口絵未(市民ネットワーク)
1新型コロナウイルス対応の検証と今後に向けて
2PCR検査体制について
3生活保護について
4災害対策について
5新佐倉図書館建設
萩原陽子(日本共産党)
1新型コロナ感染拡大防止対策について
2市民の安全第一の環境施策について
3佐倉図書館建て替え計画の問題点
宇田実生子(市民オンブズマンひまわり会)
1新型コロナ感染症対策の財源確保
2新型コロナ感染症拡大防止対策
3長期化するコロナ禍における子どもたちへの支援
4佐倉市の審議会等について
5鳥獣被害対策(さる・イノシシ被害等)

会派に属さない議員の質問

- 高橋とみお
1災害時の避難所について
2佐倉市の資金融資について
3生活保護について
4イノシシ対策について
5教職員の働き方について
6コロナ禍中のごみ処理作業員の感染防止対策について

上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会 石渡康郎

市内の感染状況と取り組み
市内の新型コロナウイルス感染者の発生状況と感染拡大防止に関する取り組みを伺う。

8月25日現在、130人の感染者が確認され、収束が見えない状況であるが、「新しい生活様式」による感染予防を実践していく。

市実施のPCR検査で陽性が出た場合、入院等の調整やその費用負担は。

医療機関が保健所に届け出をし、保健所が調整をする。費用は国の負担。

子育て世帯への支援
市独自の支援策を伺う。2つの独自施策を用意、一つは「新生児すくすく応援給付金」で令和2年4月28日以降に生まれた新生児に対し10万円を支給、もう一つは「保育業務等従事者慰労金」で保育園や学童保育所等の保育従事者の方に対し慰労金を支給する事業。

長期臨時休校後の対応
子供たちへの精神的な支援と各学校の教育活動の進め方は。

子供たちの心身の発達等に留意し、学力の向上に努める。その際スクールカウンセラーや心の教育相談員と連携を図り多面的に見守っていく。教科指導では、冬季休業中の登校日設定や学校行事等のスリム化により授業時数の確保に努める。テレワーク等の効果
市では感染拡大防止のため、サテライト勤務やテレワークを行ってきたが、

その取り組みの効果を伺う。
どちらとも職員間の接触機会の低減と職員の多様な働き方の確立を目的としているが、テレワークの導入は感染症拡大時の事業継続や時間と場所にとらわれない柔軟な働き方が可能となり、仕事と育児や介護の両立に寄与すると考える。

大規模地震発生時の対応
建物の被害想定や市民への被害が拡大、長期化した場合の応急仮設住宅は。

東京湾北部地震発生時、市内で最大震度6弱となり、最大4878棟が全半壊となる予測。応急仮設住宅は西志津スポーツ等多目的施設用地に207戸建設するほか、利用目的のない公共用地や都市公園などを想定。

保健所指導の下、休校措置は最良と考える。HPやメール配信等を活用して課題を提供。通常の授業と併せて個別指導も行う方針。

マイクловツリズムの推進
地域の魅力を発見するような面白い仕掛けとして、

どのような企画を検討されているのかを伺う。
印旛沼周辺の水辺空間をさらに魅力的なものとしていくため、今後はカヌーなどのアクティビティとの組合せによる付加価値の向上などを探りながら検討。

東京電力との協定について
協定内容と、災害時や災害復旧時にどのような効果と期待があるのかを伺う。

大規模停電等の早期復旧及び停電の未然防止の相互協力を目的とし、停電復旧作業に関わる倒木の撤去や障害物の除去、緊急連絡体制の強化及び電源車の配備に関することが主な内容。
避難所運営について
新型コロナウイルスを踏まえた避難所運営と備蓄品の準備について伺う。
十分な換気や可能な限



自由民主さくら 齋藤寛之

新型コロナウイルス学校での感染について
学校での児童感染では、市独自でPCR検査を行ったが、クラス担任に実施しなかつた理由を伺う。

児童は行動を自制することが難しく、担任は自らの健康観察ができ、感染を広げる可能性は低いと判断。
臨時休校の扱い、学びの保障について見解を伺う。

保健所指導の下、休校措置は最良と考える。HPやメール配信等を活用して課題を提供。通常の授業と併せて個別指導も行う方針。

マイクловツリズムの推進
地域の魅力を発見するような面白い仕掛けとして、

どのような企画を検討されているのかを伺う。
印旛沼周辺の水辺空間をさらに魅力的なものとしていくため、今後はカヌーなどのアクティビティとの組合せによる付加価値の向上などを探りながら検討。

東京電力との協定について
協定内容と、災害時や災害復旧時にどのような効果と期待があるのかを伺う。

大規模停電等の早期復旧及び停電の未然防止の相互協力を目的とし、停電復旧作業に関わる倒木の撤去や障害物の除去、緊急連絡体制の強化及び電源車の配備に関することが主な内容。
避難所運営について
新型コロナウイルスを踏まえた避難所運営と備蓄品の準備について伺う。
十分な換気や可能な限



公明党 押木孝和

地域活動における新型コロナウイルス感染症対策
自治会、町内会での行事やイベントが中止あるいは延期したという話を聞く。新生活様式での活動実践例や対策のガイドラインを策定すべき。市の考えを伺う。

地域活動の感染症対策について、今後長期にわたる取り組みが必要となることから、新しい生活様式に沿った地域活動の在り方を分かりやすく整理し、感染防止のガイドラインとして提供できるように具体的に策定の検討を進める。

避難所におけるコロナ禍の

複合災害の備えについて

大規模地震、台風や大雨による水害等自然災害が頻発化、日常化している。コロナ禍における複合災害への備えについて伺う。

国作成の感染症対策に配慮した避難所運営のポイントを参考に、避難者の健康チェックやマスクの着用、手指消毒、距離の確保等を明記した避難所開設運営方針を5月12日策定。

避難所備蓄品として、非常食や毛布に加え、マスクや消毒液、非接触型体温計を配備。小型バッテリーや間仕切り、簡易ベッド、フェリスシート等も配備する。

普段、客室として運営するコンテナ型ホテルを災害時に速やかに被災地へ移設し仮設宿泊所等に利用できる仕組みがある。新たな災害対応の拠点としての利用が有効だが、考えを伺う。

容易に移動設置でき、有効な手段と考える。設置場所を検討の中で災害時の支援協定を考えていく。

不妊治療費助成について 県助成のみでは不十分。佐倉市も出生数や人口を増やし活性化にもつながら不妊治療費の上乗せ助成が必要だが、市の考えを伺う。

妊婦のうち一割の方が不妊治療を経て妊娠している。今後経済的支援について図るよう検討していく。

高齢者の移動手段について

免許を返納した高齢者等への交通手段支援を伺う。コミュニティバス新割引制度等検討している。外出支援につながるかと考える。

PCR検査を幅広く 市独自のPCR検査は。感染者が発生した佐倉老幼の館及び間野台小学校で合計44人の子どもに実施。

この検査は一人当たり約3万円で民間の医療機関に委託したとのこと。市の施設、学校、保育園、幼稚園の職員や入所者、児童生徒、園児を対象に一斉PCR検査を無料で実施することが必要ではないか。

医師の科学的な根拠により必要性を判断すべき。災害対策について

洪水ハザードマップと内水ハザードマップを合わせるよう11月議会で提案したが、今議会に提案されたハザードマップの内容は。

国公表の洪水ハザードマップと、今年5月県公表の高崎川の浸水想定区域を反映し、土砂災害危険区域を地図に明示。内水ハザードマップも合わせて掲載するよう協議を進めている。

昨年の災害時、街路樹の倒木件数と現在の管理は。昨年台風15号での街路樹の倒木被害は80本。低



市民ネットワーク 川口絵未

木は業者へ委託し剪定、中高木は職員見回り、要望等が必要に

低木の入札の残金で高木を剪定と聞いた。他市の適正管理方針に倣い、予算を伴った計画的な管理を。他市の事例を研究中。今後計画的な管理ができるよう進めていきたい。

生活保護決定を迅速に 生活保護の申請から開始決定までの平均日数は。平均日数は20日。最長で6日、最長で28日。

国は原則14日間以内、手持ち金が限られている場合迅速な保護決定が求められるとしている。コロナ禍の4月厚労省は保護の要否決定の簡便化と速やかな保護決定に留意するよう通知。

市の対応は逆行するのでは。決定には慎重な判断が必要。ケースによっては時間がかかる場合がある。

新佐倉図書館計画見直しを コロナ禍で多額の新佐倉図書館建設は見直すべき。大幅な変更予定はない。

市長の公約はリセット。前市長のものを引き継がず、計画の見直しを。

新型コロナウイルス感染症防止対策 感染者の発生した地域、施設等でPCR検査を広げ陽性者の発見と保護が経済回復にも有効ではないか。



日本共産党 萩原陽子

PCR検査体制を拡充し、感染者の早期発見、隔離が重要であり、県知事に

750人分の検査費用を予算化したが、追加補正の考えはあるか。財政当局と相談し、今後の体制を整えたい。

子どもを守る少人数学級 感染から子どもたちを守るために少人数学級が有効だが、実施に必要な条件整備について伺う。

現在の調査では80名の教員と31教室が必要となる。学校の教員不足が切実な状況下で、新たなICT教育と家庭環境による格差を広げない対策を求める。

教育が全ての子どもたちに同じ条件で提供できるように保護者との連携をとる。学校給食の改善を求める

コロナ対策として簡易給食を実施したが、給食の役割についての認識を問う。児童生徒の心身の発達に大きな役割を果たすもの。

簡易給食では不足するカロリーや栄養を家庭で補うよう指導したが、補えない家庭もある。食育の観点からも今後の方針を問う。

9月以降は地場産物を取り入れた給食を実施する。市民の安全第一の環境施策

公園への携帯基地局設置は住民合意の上、許可を。地域と調整してから許可申請するよう指導する。

和田公民館で懸念されるアスベスト対策を伺う。

一定の調査を終えた。災害時などを考慮し専門機関との対策協定を研究する。佐倉図書館建て替え計画

地下から地上まで4m以上の高低差があり、上り勾配100mは踊り場を設けても避難は無理である。建築基準法等を満たし、スロープは車椅子やベビーカーの避難も考慮している。

30億円もの税金で造る公共施設は防災と安全性を一番に考えるべき。地下はベストな場所と言えるのか。

新町の活性化という課題も踏まえ決まったもの。コロナ感染症対策財源確保

市長給与の削減を問う。削減案を議会に提出。コロナ対策基金創設は。

基金創設の予定はない。長期化するコロナ禍で、新図書館建設と市民生活を守ることの優先順位を問う。

読書を通し市民の心を豊かにしていく学習の場を設けることも大切な施策。コロナ感染症拡大防止対策

市民がPCR検査を受ける際の費用の補助等は。自費で検査を受ける方への補助は考えていない。

印旛保健所管内感染者の入院・療養ベッドの数は。全ての感染者が入院、療養

できる体制は整っているか。

非公表。入院・療養体制は、県が整備している。介護施設クラスター発生時の関連施設協力体制は。

利用者・職員の検査等では保健所指示に従う。県は介護施設等職員不足対応の派遣調整ネットワーク構築を検討中。注視していく。

高齢者や介護施設利用者・職員等への、PCR検査等費用の一部補助は。現在予定はないが国の動向、先行自治体の実施状況や検査機関との協力体制等、調査研究を進めたい。

行き場を失う入所者が泊施設等への体制作りを。コロナ禍の避難所運営

避難時の注意点を問う。在宅避難や分散避難も選択肢の一つ。避難所に避難する際は、マスクや消毒液、体温計等の持参、手洗い・せきエチケットの徹底並びに自身での健康管理を。GIGAスクール構想

家庭でオンライン授業に参加できない子供には。自宅学習が困難な場合、学校のインターネット環境の活用を進めていく。

教師間のICT活用スキル格差は正対応策を伺う。各学校の情報担当教員を対象とした研修会を実施。

イノシシ等鳥獣被害対策 自然環境や野生鳥獣の生態等、環境保護専門家を

登用した専門班等の設置を。
現行体制で着実に実施。
イノシシ等のすみかとなる森林等の整備に、森林環境譲与税の利用を求めらる。



高橋とみお

災害時の避難所について

災害時の避難所運営体制を構築するため、避難所運営委員会を避難所地区毎に設立していく考えはあるか伺う。

指摘の委員会設置について、前向きに取り組みたい。

印南地区の 防災対策について

印南小学校は、市内で唯一浸水想定区域と急傾斜地崩壊危険区域に囲まれた指定避難所であり、昨年大雨でも学校周辺の道路が水没した。水害時の指定避難所の見直し、高台側施設の一時避難所指定、防災井戸設置の考えはあるか伺う。

稲田敏昭

イノシシの捕獲数は年々増加傾向にあるが、佐倉市鳥獣被害防止計画を見直し、鳥獣被害対策実施隊の設置を検討する考えはあるか伺う。

必要に応じ、今年度見直す鳥獣被害防止計画に反映したい。

教職員の働き方について

稲田敏昭

次年度から1年単位の變形労働時間制が適用可能となった。本件について、教育現場との意見交換等の場を持たれたのか伺う。

定期的に学校を訪問し、実情把握に努めている。

コロナ禍中のごみ処理作業員の感染防止対策について

玉城清剛

コロナ禍中、感染リスクの高いごみ処理作業員の苦勞を忘れてはならない。

①ごみ処理量の対前年比での増加率、②清掃組合や家庭ごみを収集している作業員の感染防止対策、③医療機関で使用された防護服やマスク等の処理方法を伺う。

家庭ごみの処理量は、4月は対前年比で約10%増。4月から7月までの平均では約8%増。ごみ収集や清掃組合の作業員は、国から示された感染防止対策を徹底している。医療機関の感染リスクの高いごみは、国で示されたマニュアルに基づき処分されている。

用語解説

「IGAスクール構想」

文部科学省が提唱する「義務教育を受ける児童生徒向けの1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する」構想。

11月定例会の予定

- 議会運営委員会 11月17日(火)
招集日 11月24日(火) 午後1時から
一般質問 11月30日(月)～12月3日(木)
常任委員会 12月7日(月)～10日(木)
最終日 12月14日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。議会事務局 ☎043-484-6254

□インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様態を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

□CATV議会放映：本会議の様態を開催日の翌日午後5時30分から放送。【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

ご案内・佐倉市議会だよりの配架場所

議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、公民館や図書館などの公共施設や市内駅(JR佐倉駅は観光情報センター)、市内セブンイレブン、ユーカリイオンタウンに配架しております。



主な議案の概要

7月臨時会

市長から提出された令和2年度一般会計補正予算は、引き続き市民生活や地域経済に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症について、より一層の対策を講じるため、国の令和2年度第2号補正予算で拡充された、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、事業継続や雇用維持、「新しい生活様式」を踏まえた市独自の支援策のうち、早急に事業着手する必要のある事業費を編成したものです。

議案第1号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ12億5184万3千円を増額するもので、補正後の予算総額は、703億7813万9千円。歳入の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金、諸収入の増額。歳出の主なものは、防災資器材等管理事業、保育業務等従事者慰労金交付事業、新生児すくすく応援給付金交付事業、地域医療対策事業、担い手強化事業、新型コロナウイルス感染症対策事業費の増額。繰越明許費は、新生児すくすく応援給付金交付事業について設定するもの。

8月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号～第9号は令和元年度的一般会計、各特別会計、公営企業会計の決算の認定、議案第10号～第20号は令和2年度の各会計の補正予算、議案第13号～第14号及び第17号は条例の制定、議案第15号及び第18

号～第19号は財産の取得、議案第16号は教育委員会委員の任命、議案第21号～第23号は契約の締結、諮問第1号及び第2号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

議案第10号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ27億1520万7千円を増額するもの。補正後の予算総額は、730億9334万6千円。歳入の主なものは、地方特例交付金、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰越金、市債などの増額。地方交付税、分担金及び負担金、財政調整基金繰入金などの減額。

歳出の主なものは、健康危機対策事業、新型コロナウイルス感染症対策事業、図書館機器等整備事業など、事業継続や新しい生活様式などの新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費の増額、補助制度の変更に伴う(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業などの増額、ひとり親家庭等医療費等助成事業、農業災害支援対策事業などの制度の改正等に係る事業費の増額、繰越金の財政調整基金への積み立てなどのほか、新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等に伴う事業費の減額。繰越明許費の補正は、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業の変更。

繰越明許費の補正は、健康管理センター空調設備改修工事外4件の追加。債務負担行為の補正は、健診等業務委託(後期高齢者医療健康診査分)外3件の追加。地方債の補正は、市道I-24号線(京成佐倉駅前下り一通)歩道整備事業債外1件の追加、臨時財政対策債外4件の変更。

議案第15号・第18号 財産の取得について

佐倉市立小中学校タブレットパソコンについて、1億710万7千円(第15号)、追加分として、4億3533万7760円(第18号)をもって株式会社大崎コンピュータエンジニアリング千葉支店と売買契約を締結するもの。

議案第17号 令和2年度における特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活と市内事業者の経済活動に深刻な影響が及んでいる状況を踏まえ、各種の対策事業に必要な財源を確保するため、特別職職員の給料の一部を減額するもの。

議案第20号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑制し、医療現場の混乱を防ぐため、インフルエンザを予防するためのワクチン接種費用の一部助成について、歳入歳出それぞれ12億83万1千円を増額するもので、補正後の予算総額は、731億617万7千円。歳入は、財政調整基金からの繰入金。歳出は、インフルエンザ予防接種費用助成金及び事業実施に係る事務経費。

議案第21号～第23号 契約の締結について

(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設新築建築工事について、17億2150万円をもって、前田建設工業株式会社(第21号)、同施設新築機械設備工事について、3億96万円をもって、大成温調・光陽特定建設工事共同企業体(第22号)、同施設新築電気設備工事について、1億6713万5100円をもって、株式会社東照電気(第23号) 請負契約を締結するもの。





市議会 Topics

新しい生活様式を取り入れた with コロナ時代の佐倉市議会

感染症対策に関連した 2つの議員提出議案を可決

対策の拡充を求める決議案を全会一致で「可決」

緊急事態宣言の解除後、経済をはじめ、様々な活動が再開、活発化したことで、佐倉市においても感染は拡大傾向にあります。

必要な財源とするため、「新型コロナウイルス感染症対策の拡充を求める決議(左参照)」を全会一致で可決しました。

9月以降、小中学校等の教育活動が本格化し、さらなる感染防止対策が必要なことに加え、台風の到来やインフルエンザが蔓延する季節を目前に控え、これまで以上の備えが必要と見込みです。

また、本決議の実効性を担保するため、政務活動費の一部返納や例年行っている常任委員会等の視察を中止するなど、議会費の削減にも努めております。これらの取り組みによる議会費の削減総額は、約500万円となる見込みです。

政務活動費に関する 特例条例を可決

決議と併せて、議員提出議案として「佐倉市議会政務活動費の交付の特例に関する条例」が賛成多数で可決されました。

今年度、既に交付された政務活動費を年度当初に遡り減額するものとなります。

状況に合わせた予算の組み換えにより、安心、安全な市民生活の確保に充てられるよう市議会も活動しています。

新型コロナウイルス感染症対策の 拡充を求める決議(全文)

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の解除後、経済をはじめ、様々な活動が再開、活発化したことで、新たな感染者が全国で増大している。

千葉県においても、宣言が解除された5月25日において直近7日間平均感染者数が0.6人であったものが、8月20日では48.4人となり、その状況について「第2波とみている」と見解を示した。

ここ佐倉市でも感染は拡大傾向にあり、解除前の感染者数30名に対し、解除後は95名と急増しており、市中感染も危惧されるところである。

また、8月以降、市立小学校においては、教職員や児童の感染が次々と報告され、休校措置が取られた。集団感染には至らなかったものの、教育活動が本格化する9月以降、さらなる注意が必要である。

台風の到来やインフルエンザの蔓延が心配される季節を目前に控え、これらがもたらす災害との複合も懸念されるところでもあり、これまで以上の備えも必要であると考えている。

以上のことを踏まえ、佐倉市議会では、安心、安全な市民生活の堅持に必要な財源とするため、政務活動費の一部返納や常任委員会等の視察中止など、議会費の削減に向けた取り組みを進めているところであり、佐倉市には、この財源を有効活用し、下記に示す感染症対策の拡充を求めるものである。

記

1 子どもたちが安心、安全に学べる環境を確保するため、小中学校、幼稚園、保育園や学童保育所などの衛生管理に係る資材を十分に確保すること。

以上、決議する。

議会を止めるな！ 議会運営に係る 取り組み状況(続報)

令和2年5月臨時会以降、議会運営方針である「社会的距離の確保」「傍聴の自粛要請」「会議時間の短縮」の目的を効果的に達成するため、8月定例会からさらに徹底した感染防止対策に取り組んでおります。

なお、現在も傍聴は自粛をお願いしており、本会議はケーブルテレビやインターネットで議会中継の視聴をお勧めします。



全員協議会室で行っていた特別委員会は、十分な席間距離等の確保をするため、本会議を行う議場で開催に変更した。配席も議員と市職員の位置を入れ替えて実施した。

これが佐倉の底力！

8月定例会の議会運営にあたり、手指消毒等には、佐倉市唯一の蔵元で馬渡にある株式会社旭鶴さん(天保元年〜1830年)創業)より佐倉市に提供していただいた「高濃度アルコール64」を活用しました。



地元蔵元による伝統の醸造技術を新型コロナウイルス対策に転用。市議会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に活用しています。

感染防止資材が極端に不足していた本年5月に、伝統の醸造技術を応用し飲用を目的としないアルコールとして製造・提供されたものです。



佐倉市議会では、会議室入室時の手指消毒等で活用しました。



旭鶴 田中社長
(佐倉市観光土産品組合組合長)

「アルコール不足で切迫する中、地元酒蔵として何かできないかと考え、まずは市に提供しました。」とのこと。

令和2年7月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 賛成 議 議長

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議決結果, 議員, and various political parties (さくら会, 公明党, etc.).

令和2年8月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 否 否決 同 同意 認 認定 採 採択 不 不採択 賛成 反対 議 議長

Large table with columns for 議案番号, 議案名, 議決結果, 議員, and various political parties. Includes sections for 市長提出議案 and 議員提出議案.

議案に対する会派等の意見

わくわく会

議案第1号、第9号 令和元年度佐倉市一般会計、各特別会計、公営企業会計決算に賛成

私たちさくら会は、各会計全般を通じ、予算の目的に沿って執行されているか、その効果が十分に得られているか、さらには、検証が行われ、今後の課題の把握がなされているか、といった点を中心に審査を行った。

議案第1号、一般会計歳入歳出決算は、幼児教育・保育無償化により負担金や使用料などが減収したものの、歳入の根幹となる市税が全体として増収を堅持するとともに、昨秋の台風・大雨被害に対応するため、国及び県支出金が増額した結果、収入全体としては、対前年度比で増額となった。財政指標については、財政の健全性は維持されているものの、財政調整基金の残高が大きく減少しているほか、経常収支比率が上昇し、実質単年度収支も4年連続で赤字となった。社会保障関係経費やインフラの老朽化対策に加え、新型コロナウイルス感染症対策による財政需要が増しており、今後、健全な財政運営を維持していくためには、行政サービスの維持、向上を図りつつ、事務事業の見直しなど、行政改革を今こそ断行すべきと捉えている。

ども園、小規模保育所の整備などにより「高齢化・少子化対策の推進」が図られたほか、スポーツ施設の拠点となる岩名運動公園拡張整備の促進や交通空白地域対策としてコミュニティバスの運行など、「市民サービスの充実」につながる各種事業が実施され、目的に沿った成果を上げている。さらには、未曾有の被害をもたらした昨秋の台風・大雨に対し、財政調整基金や予備費を投入し、適切な対応に努め、「安心、安全なまちづくり」が進められた。市長の施政方針に沿った内容であると高く評価し、認定すべきものと判断した。また、議案第2号から第9号までの各特別会計、水道事業及び下水道事業会計についても、予算の目的に沿って、適正かつ公正に執行され、その効果も上がっていることと認められ、認定すべきと判断した。

議案第10号 佐倉市一般会計補正予算に賛成
本補正予算は、新しい生活様式を定着させるために必要な予算のほか、観光資源の創出など、感染症の収束後に市の内外から、新しい人の流れをつくることを期待できる内容が含まれていることから、賛成する。
議案第17号 令和2年度における特別職の職員の給与の特例に関する条例に賛成
市長をはじめ常勤の特別職が給料を削減し、各種対策の財源とすることは、コロナ禍が長期化する中、深刻な影響を受けている市民や事業者とともに難局を乗り越えていくためには必要であると理解する。

議案第15号 財産の取得について賛成
市内の小・中学校にタブレットパソコンを購入するもの。公明党が推進してきたIGAスクール構想で実現した一人一台の端末整備により、オンラインでの学習支援となり、ICT環境の整備は急務であると考え賛成した。

議案第10号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算について
以下のような点を申し添え賛成
個人番号カード等交付事業は海外における迅速な現金給付や定額給付金のオンライン申請に伴い、需要が伸びている。今後も推進に努めて欲しい。

議案第10号 令和2年度佐倉市一般会計補正予算に賛成
企業誘致事業は、平成16年度より現在まで21社の誘致効果があり、約39億円はオフィス系の企業誘致、コロナボサクラを利用した支援。また coworkingスペースの利用が増えている。今、都心に近く緑豊かな佐倉市を企業に積極的にPR

議案第14号に賛成
居室介護支援事業所の管理者について主任介護支援専門員の確保が困難な場合、介護支援専門員とすることができ、規定が令和9年3月31日まで延長された。2025年問題をにらんで資格の取得を推進し、市の民間事業者の倍増や資金補助を願う。

議席12番
議案第14号に賛成。居室介護支援事業所の管理者について主任介護支援専門員の確保が困難な場合、介護支援専門員とすることができ、規定が令和9年3月31日まで延長された。2025年問題をにらんで資格の取得を推進し、市の民間事業者の倍増や資金補助を願う。



委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案13	議案15	議案17	議案18
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案19	議案20	議案21	議案22	議案23	
可決	可決	可決	可決	可決	

開催日：令和2年8月31日、9月14日 / 場所：全員協議会室
議案11件について審査し、その結果は左表のとおりです。
 なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 ハザードマップについては、市民に知っていただき、活用していただくことが重要であることから、作成後のしっかりとした周知をお願いしたい。



〔委員〕◎石渡康郎、○徳永由美子、川口絵未、高橋とみお、押木孝和、岡野 敦、爲田 浩

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案10	議案12	議案14	議案20	請願7	請願8
可決	可決	可決	可決	採択	採択

開催日：令和2年9月1日 / 場所：全員協議会室
 9月14日 / 場所：第3委員会室
議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。
 なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 国のPCR等検査体制の強化方針を踏まえ、関係機関と連携の上、適切な検査体制を確保し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めていただきたい。



〔委員〕◎高木大輔、○山本英司、鍋田達子、密本成章、玉城清剛、五十嵐智美、萩原陽子

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10
可決

開催日：令和2年9月2日 / 場所：全員協議会室
議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。
 なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 ふるさと広場は、観光グランドデザインで位置づけられた観光拠点となる施設であることから、必要なインフラ整備を推進するため、他部署との連携を強め、地域経済の活性化につなげていただきたい。



〔委員〕◎久野妙子、○斎藤明美、宇田実生子、齋藤寛之、稲田敏昭、木崎俊行、中村孝治

建設常任委員会

《審査結果》

議案10	陳情5
可決	不採択

開催日：令和2年9月3日 / 場所：全員協議会室
議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。
 なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 高齢者に限らず、妊産婦や子育て世帯等の外出支援は非常に重要である。現在、第2次佐倉市地域公共交通網形成計画に基づいた新たな取り組みが予定されているが、引き続き市民の移動実態やニーズの把握に努め、持続可能な公共交通網の形成を進めていただきたい。



〔委員〕◎敷根文裕、○櫻井道明、松島 梢、石井秀明、藤崎良次、平野裕子、岡村芳樹

PC
スマホで

ホームページも
ご覧ください!!



各検索サイトからは **佐倉市議会** を **検索**

- **会議録が検索できます!** 平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。
- **インターネット中継を見ることができます!** 本会議の様態を、開催時間中にライブ中継で見ることができ、開催日のおおむね1週間後から、録画中継を見ることができます。
- **政務活動費のページを更新しました!** 政務活動費の支出の根拠に加え、取扱基準や経費の範囲の説明、平成29年分からは収支報告書とあわせて領収書を公開しています。



委員会ごとに会議録
が見られます。

議会百景

議会を経験するたびに思うのは、市民生活に影響があり、議会内で意見が大きく分かれる議案に関する「賛否の理由」が、市民の皆さまに伝わっていないと感じるもどかさです。市民が議員を評価する最大のポイントは、議員の議会活動であり、賛否理由です。そのため情報公開の在り方改革を、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。
 (広報公聴委員 高橋とみお)

秋も深まり、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。引き続きご協力をお願い致します。感染拡大防止策として議会時間短縮、傍聴自粛意見交換会の中止等、議会活動も制限されております。これを機に、オンライン会議システムの導入、各委員会等のインターネット中継実現等、議会活動充実のため全力で取り組みます。
 (広報公聴委員 宇田実生子)

新型コロナウイルス対策は、医療と検査の体制強化や社会経済活動の本格的な回復の両立を目指すことだと思えます。元氣な佐倉市を一日も早く取り戻すべく、一生懸命取り組んでまいります。佐倉市議会が市民の皆さまのご意見が反映される場となり、少しでも身近に感じていただけるよう、読みやすい市議会報を皆さまにお届けしたいと思います。
 (広報公聴委員 石井秀明)